



教育目標 ・すすんで学ぼう ・美しい心を育てよう ・たくましい体をつくろう
経営理念 自分と人類の幸福を創造する人材の育成

○補助輪を外すとき

皆さんは、自転車の補助輪を付けなくても、ようやく乗れるようになった頃の懐かしい一コマがあると思います。その一コマでは、保護者の方などの後ろ盾をいただきながら、不安を抱えながら、今にも倒れそうになりながら、あるいは転んでしまったりしながら自転車で乗れるようになったあなたがいたでしょう。保護者の方におかれましては、お子様が1日も早く自転車で乗れるようにと、子供と一体となって、後ろを押したあの頃を懐かしむことができるでしょう。保護者様は、今のお子様の自立・教育について、まだまだ手のかかる思いだと感じていらっしゃると思いますが、その一コマから思えばお子様は一段と立派に成長されたと思います。自転車の運転を人生に例えた偉人がいます。それは世界的な権威をもつ科学者、アルバート・アインシュタイン（故人 1879 - 1955、1921年ノーベル物理学賞受賞）です。彼は相対性理論（物質は光速を超えることはできず、光速に近づくにつれて物質の質量は無限大になり、時間の遅れが生じることを明らかにした理論）で有名ですが、以下の名言も残しています。「人生とは、自転車に乗っているようなもの。バランスを保つためには、走り続けなければならない。」と、何かハッと気付かされる言葉であるとともに意味深な問いかけがあると思います。教育界にも助言しているような錯覚に校長は陥り、「人は自立に向かって、自分で行動（運転）しなければならない。そしてそれを止めてはならない」とも聞こえてきます。とは言え、自立のために最初は補助輪＝保護者、教師の指導や助言、手助けは必要だと思います。しかし、補助輪をいつまでも履き続ける訳にはいきません。いつかは外さなければいけない時がやって来ます。その度合いが高まるのが中学生だと思っています。小学生まではどちらかと言えば「転ばぬ先の杖（補助輪）」的な思いや行動が大きかったと思います。でも、中学校を卒業してわずか3年で成人になる中学生には、保護者や教師の補助輪を徐々に外して、自分で乗れるようにしてあげなければなりません。その教育のヒントを得るために、校長がさらに調べて見るとノートルダム清心学園理事長であったスウェーデンのエレン・ケイに出会えました。この方は19世紀から20世紀にかけての女性教育家で、保護者で保育士になられた方は、ご存じではないでしょうか。『児童の世紀』を執筆され、保育士選考の問題に今でも出てくるそうです。同書籍には「教育の最大の秘訣は、教育しないことにある」というくだりがあり、今でも斬新で新鮮な響きを与えてくれます。また彼女は「バラの刺を最初から絶対に抜いてあげてはいけない。」とも語っており、「どのような発達段階の子供であっても、子供にはありのままの現実を体験させるようにしなければならない。」と力説しています。同書籍では幼児教育の重要性が説かれており、国際的にも大きな反響を引き起こし、この影響を受けて、第二次世界大戦後の「世界人権宣言」（1948年）や「子どもの権利宣言」（1959年）などに引き継がれたと言います。考えてみれば、世界人権宣言に基づく人権週間が12月4日から始まろうとしています。いじめや虐待、性被害等の子供の人権問題ともしっかり向き合っていかなければなりません。中学生が大人に向かって自立していくこの時を、私たち全員が正面から受け止め、このことを念頭に教育や言動を執っていかねばならないと考えています。年の瀬を迎えるに当たり、「補助輪を外すとき」で締めくくりたいと思います。そして、保護者・地域の皆様にも今年も大変お世話になりました。未来ある生徒の教育で保護者・地域の皆様と教職員が教育者として一体となり協働できたことを何よりも有り難く思います。良い年をお迎えください。



昇降口で輝きを放つパンジー、心が和みます
※10/28 ボランティア活動のお陰です

○12月・1月初旬の学校ポイント

(1) 12/1(金)から全校三者面談が始まります

3年生は進路先候補の決定の場となります。1・2年生は、1学期の三者面談で確認した学習・生活面の課題の克服状況、2学期の成果(秋の实り)と課題への共通理解、3学期の過ごし方の確認が中心となります。予め上記の視点に立って準備し、当日は担任の先生に生徒自ら報告できるようにしましょう。

(2) 12/9(土)は授業公開・「本物に学ぶ会」があります

すでにご案内していますが、PTA主催「本物に学ぶ会」では、今年度も現代的なリズムダンスについての学習とその講師の先生の生き方を学びます。保護者の方もぜひご参観ください。

講師紹介 キッズダンススタジオ VIGORES 代表 中野むつみ氏。地域(スタジオ)や学校で様々な種類のダンスを指導し、一人一人の個性を生かしながら日々のレッスンを行っています。中学校教員免許もお持ちで、地域の学校で講師としても活躍されています。

(3) 2学期終業式、そして冬休みを迎えます

12月22日(金)は2学期終業式です。翌23日から1月5日(金)まで14日間の冬休みとなります。この時期はクリスマス等で華やかになったかと思えば、お正月を迎え、日本の伝統で彩られる風景への変化も鮮やかです。時の移り変わりを楽しむとともに、年度の途中ですが、これまでの1年間を振り返り、来年への期待、理想とする自分に思いを巡らせてほしいと思います。夏休みより短いとは言え、計画的・規則的に過ごせるようご指導・支援をお願いします。学校でも冬休みの計画表を立てさせますので、ご家庭でもご確認いただき、共有願います。

(4) 3学期は1/6(土)[始業式]から、1年生スキー教室は1/10(水)からが始まります

今年は近隣の学校ですでにインフルエンザによる学級閉鎖等が多数発生しています。また、気温低下に伴い室内空間は密閉になる傾向にあり、コロナ感染拡大も含めて取沙汰される季節となりました。これらの感染を最小限にするため、今年度からスキー教室を前倒しし、その影響を受けて始業式も同様となりました。ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

○お知らせ

(1) 生徒会本部から標準服等に関する校則改定方針等が示されました

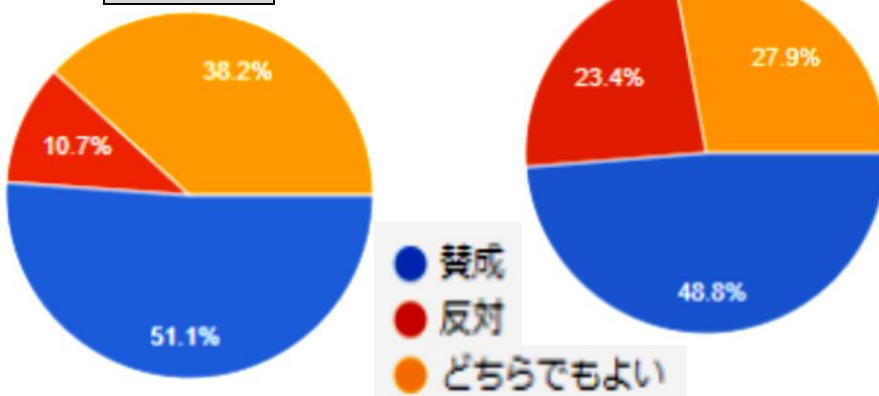
10/31 生徒朝礼で、生徒会本部生徒から、標準服等に関する校則改定の方針とスケジュール、エンブレム募集のプリントが配布され説明がありました。その行動の第一歩として生徒全員からアンケートをとることが周知され、即日実施となりました。その結果が次の円グラフです。

生徒朝礼 10/31 で校則改定を呼びかける生徒会本部生徒~6人全員が根拠をもって説明しました。~



私服選択の導入

標準服の改定



11/10 校則改定委員会

賛成票は、標準服の改定ではわずかに過半数を超え、私服選択の導入では過半数にわずかに達しませんでした。キャスティングボートを握るのは「どちらでもよい」の票をどう解釈するかにかかってきます。11/10に校則改定委員会(生徒会本部生徒、校長、生活指導主任、生徒会担当教員で構成)で、話し合わせ、生徒会本部から少数派意見の尊重にも話が及びその代替案についても真剣に討議されました。現在、中央委員会、学級会にて討議中で、12/14に臨時生徒総会で最終審議、議決される見込みです。生徒の真剣な考え、議論があり素晴らしいです。改めて報告しますので注目してください。

(2) 入賞等～おめでとうございます～(敬称略)

薬物乱用防止ポスター
(東京都薬物乱用防止推進青梅・奥多摩地区協議会)
会長賞 3C〇〇〇〇 佳作 3A〇〇〇〇

令和5年度 青梅市芸術文化奨励賞受賞 3C〇〇〇〇
受賞理由 第59回全日本書初め大展示会中学校の部
文部科学大臣賞受賞

(3) 令和5年度教育活動に関するアンケートへのご協力・回答、有難うございます

昨年度からICT化を進め、スマートフォン等からの入力を行いました。ご回答いただいたことを参考にしながら、改善を図り、何よりも生徒への教育水準の向上に努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。なお、結果の概要は今後の学校便り等に掲載する予定です。※入力期間を延長し12/8までお願いいたします。(3者面談等で確認し、入力がお済みでない場合は、その場でご依頼することもありますのでご了承ください)

(4) 青梅市教育委員会児童・生徒表彰の候補者(生徒)推薦のお願い

対象期間	令和5年1月16日～令和6年1月15日		
表彰基準等	優良表彰	模範表彰	功績表彰
	有益な調査、研究、発明、工夫等考案したもの ・原則、東京都規模以上の大会、選考会等でその内容が高く評価されたもの	特に他の模範とするにたる行為があったもの ・人命救助、応急手当、初期消火活動等、その行為がなかったら、明らかに事故、事件等になったもの ・ボランティア活動(福祉、環境美化、地域活動)を継続して原則2年以上行い、内容が表彰にふさわしいもの等 ・その他、表彰に値するもの	芸術、文化、スポーツ活動等において著しい成果を収めたもの ・都道府県規模以上の大会で優勝、準優勝したもの、または同等の賞を受けたもの ・関東大会へ青梅市又は東京都代表として8位までに入賞した者 ・全国大会へ青梅市又は東京都代表として出場したもの ・東京都規模以上の大会において、上位となったもの等
添付書類	大会等要項、評価等	新聞記事等、実践の記録等	大会要項、結果等
学校申出〆切	R6.1.12(金) 実績資料等を添えて副校長へ相談		

〇10月下旬の学校の様子



講演「産婦人科の現場から～生命について考えてみましょう～」を聞いての生徒の感想(一部抜粋)
生命の大切さに気付かされ、考える機会となりました。皆さんの感想を読むと感動します。ぜひ読んでください。

- ・(誰もが)がんになってしまう可能性があり、もしかしたら死んでしまうかもしれないと思うと日々を大切に周りの人も大切にしていってほしいと考えました。また命をかけて出産してくれた母に改めて感謝し、母が命を分けてくれた分の恩返しを「生きて行くこと」でしていきたいです。
- ・自分の体の中の特に大切な臓器といえる子宮。性感染症やがんのことは自ら守るための知識として人並み以上に知っている筈だと思っていましたが、講演を聞いている中で知らなかったこと、間違っていた所が分かり大変驚きました。間違いのない正確な知識を身に付け自分を守っていこうと思います。
- ・命とはどういうものなのか、そして依光さんなど産婦人科の方たちがどれだけすごいかを実感することができました。生きたくても生きられない方がいることや病気が命を奪うという恐ろしさを感じて、より命の大切さを感じました。体の病気がある、患者さんと真剣に向き合う産婦人科の方たちも辛いことはたくさんあると思うけど、それを乗り越えて今でも続けている心の強さに私はすごいと思いました。
- ・依光先生が言っていたように1年に1回でも命のことを考えたいです。
- ・これからは差別などをせずに命を大切に生きていきます。
- ・命はとても尊いもので、なくした時に悲しみはすごく大きいけれど、生まれた時の喜びも同じくらい大きいということが分かりました。また、命は自分のものだけではなく、親からもらった大切なものということも実感しました。何でもないように思えることも、死んでしまう可能性があるということをお忘れなくしたいです。これからの生活の中で今日学んだことを忘れずに思い出して、命について考えたいと思いました。

3年

- ・実話の高校生ががんで死ぬと分かっているにも、残りの少ない時間を「学校に行きたい」、「病院では死にたくない」などポジティブさが感じられ、とても強い人と尊敬しました。また、どんな苦しい状況でも闘い続けて元気に過ごすのがすごいと思いました。
 - ・今までは命がすごく大切なものであることは分かっているにも、深く考えることはありませんでした。しかし今日のお話を聞き、気持ちの大切さについて考えて見ようと思いました。また、もし自分が病気になってしまった時のために、知識をつけることが大事だなと思いました。
 - ・辛いこともたくさんあると思うのに、それを乗り越えて行く命の大切さを改めて実感することができ、命のありがたみを知りました。
 - ・(亡くなった高校生は)自分が危険な状態にいても、学校に行ったり、手術の前に子供助けてくださいとお願いしたり、薬を飲んだり自分が最後にやりたいことを、頑張りたいことを一生懸命やっていたから、自分もこれからの生活で一生懸命やりたいと感じました。
- 3年:続き**
- ・依光先生の話から生きたくてもいきられない苦しさが伝わってすごく怖かった。自分は今当たり前のように学校に来て健康に過ごしているけど、これができるのは当たり前じゃないんだと気付かされた。今ある自分の命をもっと大切に1日1日を大切に過ごそうと改めて思った。
 - ・お医者さんが言うことは正しくて、ちゃんと従うべきなんだなと思いました。これから気を付けたいと思いました。
 - ・今までの自分には無関係だと少し感じていた自分自身を叱りたい気持ちでいっぱいになりました。誰にでもありうることで、決してがんや HIV が特別ものではないということを感じるとともに私はこの話を身近な人へ伝えていきたいと思います。このような経験は身の回り人には絶対にしてほしくないと思いつつ、貴重なものだと感じられるので、ぜひ自分の心に留めてこの先、私が命を大切に守るために生かして行きたいと思います。そして、周りの人たちにも同じような意識が広まるよう願っています。
 - ・苦しい思いをしている人がたくさんいる中、元気に生きられている今を大切にしたいなと思いました。将来のことや家族のことも考えながらこれからも命の大切さを大事にして行きたいです。毎日幸せでも明日も同じとは限らないことを気付かされました。
 - ・世の中辛い人がたくさんいるんだなと思った。もし、自分が治らない病気になったらどんなふうに余生を過ごすのかなと思った。最近、自暴自棄になって薬をすごい頻度で飲んでいたので気を付けようと思った。
 - ・私はこの講演会を聞いて、3時間目の道徳「エリカー奇跡の命」で感じた命の大切さを改めて感じることができました。人間は人生が短くなるほど頑張ろうとして一日を大切にしようとするが、まだ若い人もいつ自分が重い病気になるかわからないので、人生がまだ長い人も一日一日を大切に悔いの残らないような人生を歩むことが大切だと思いました。
 - ・今日の講演会で1番思ったのは、命が危険になったと分かった時に本当に命の大切さを知るかもしれないと思いました。それに命がなくなると身近な人に悲しい気持ちにさせる怖いものだと感じました。決して無駄にできないものだから今後の生活を改めます。
 - ・依光先生の話聞いて、今生きているのは奇跡ということに気付かされました。なので、これからも自分の家族、友達を大切に、そして感謝して生きて行こうと思います。
 - ・4人の話を聞いて、今自分が健康で生きていられるのは当たり前ではないと思いました。そしていつ何があっても後悔しないように生活していきたいと思います。
 - ・今、私の家族が全員無事に生まれて健康に生活を送れていることへの特別さとありがたみを感じることができました。今自分が健康であることに感謝して生活し、命を失う人がいることも考えようと思いました。
 - ・命の大切さをより考えることができました。身近な人が亡くなっているので命の大切さについてはよく分かります。このことを忘れないように自分の周りの人を大切にしていきたいです。
 - ・私はいつもの毎日は必ずあるとは限らないことを学びました。後悔しないように、私は1日1日を大切に生きて行こうと思いました。
 - ・命とは、これからの人々の余生にとって一番大事で、てんびんで、はかってもはかり知れないほどの重さがあるのではないかと、そして結局、自分の命を一番守れるのは自分なんじゃないかなと思いました。
 - ・命に感謝していきたい。人の命だけではなく、私たちのために死んでしまう動物たちにも感謝していきたい。
 - ・本当にあった話を聞いて世の中にはこんな風に死んでしまう人がいるんだなと心苦しくなった。僕は男だけど、だからって自分に関係ないと割り切るのではなく、ちゃんと勉強して知識を付けていかなければならないなと思った。
 - ・赤ちゃんが生まれてくることの大変さや今起きている戦争などで自分たちが一番理解しなきゃいけないことが分かりました。赤ちゃんが生まれてくることは喜ばしいことだと感じました。戦争で命がたくさん失われている言葉が心に残りました。
 - ・今回の講演会を通して私は、考えるべき大切な人は自分だけではなく、相手のこともなんだなと感じました。自分だけが助かって相手も助からない時や自分も相手も助からない時の悔しさや悲しさを経験したことがなくても実感することができました。

- ・今日の話聞いて命に関わる病気やけがをしていないだけでもすごいことだと思いました。やはり、命というものは大切に支え合って生きて行こうと思いました。
- ・私たちが生きているのは奇跡かも知れないと思うと、命は小さいものに思える。
- ・命の尊さは計り知れないもので、皆がみんな幸せな人生を送れるわけではないのだと分かりました。これから自分も何があるかは分からないので今日の話を中心に、大切に過ごしたいと思いました。
- ・今回の講演会を通して、自分が今生きて生活しているだけで幸せなのだと思いました。
- ・これからの生活の中で、生命などを侮辱したりする言葉や行動はしないようにしたり、見たら注意などをしたいと思いました。
- ・命を大切に生活していきたいと思った。普段生活できていることは、すごいことだから全力で楽しんで生きていきたいと思った。暴言や暴力をなくして素晴らしい世界にしたい。
- ・自分がこのように生まれているということが凄いなと思いました。もらった命を大切に生きていきたいと思った。
- ・(依光先生等が)自分では感じられない、知らない所で人を助けていることに感動しました。辛い思いをしている人を精一杯助けようとしても助けられない人もいることを知ったので、自分も身近で気になった人がいたら今日聞いた話を伝えたいです。
- ・命はどんな生物にもあるし、結局最後は来るものだけど、その最後が来るまでずっと大切に生きて行くことが大事。
- ・病気は怖いなど思っていたいつ何が起こるか分からないし、死が来るか分からないから1日1日を大切にしようと思った。
- ・色々な事情・事故で亡くなる方が多く、それが例え赤の他人でも一言もしゃべったことのない人でも心が苦しくなることが分かった。これからは精一杯生きる。
- ・色々な病気があってそれを知っているか知らないかで命に関わってくるので知識を付けておくのは大切だと感じた。生命について考えることは大切だと思った。
- ・いつ亡くなってしまうか分からないからこそ、一瞬一瞬を大切に生きて行こうと深く考えさせられました。将来、自分も母親になった時、命というものをもらうわけなので覚悟をもって生活していきたいです。
- ・話がとても辛くてすごく悲しくて泣いてしまいました。辛くて何も書けません。ごめんなさい。
- ・とても悲しく感じました。それと同時に病気になり死を迎えるという怖さも感じ、やはり命はこの世で1番大切なものだと思います。
- ・人間はいつ病気になって死ぬか分からない。・・・自分が今できることは本当にやりたいことを全身全力でやるのが大切だと思った。そのために自分がやりたいことを積極的に行っていくのが大切。
- ・命が病気にさらされた時に自暴自棄になるのではなくて、その病気と向き合って治らなくても治そうとして生きて行くのが大切なんだなと思った。
- ・私がこうして楽しく学校に行くことができているのは、当たり前なことではない。家族と普通に過ごせるのも当たり前ではないから大切にしたい。
- ・普段あんなことを考えたことがなかったから独特な空気だったし、複雑な感情になった。こうやって生まれてくるのは当たり前じゃないのだと知って、これからも1日1日を大切に過ごしていきたい。
- ・生命は一人につき1つで皆平等にしかないのだから、今回の話は全て生きるための行動だったのだと感じました。生命と共に進んでいくから「終わり」が来るまで大切にしようと思います。また人には必ず「終わり」、いわゆる「死」はつきものなので最後に良かったと言えるような生活を送っていきたくらいと思った。
- ・人が亡くなっていく上で苦しんでいる人だったり、努力などをしたりする人がいるっていうのを聞いて、生命とは尽きて行くものだけど、より大切にしなければいけないことが分かった。
- ・命の大切さを知り、これからは「死ね」とかをあまり言わないようにしようと思う。生きているだけでいい。
- ・いくら嫌なことがあっても自殺しちゃダメ。親からもらった命だから大切に。また病気にかからないように気を付ける。
- ・話を聞いてとても感動しました。はかない命というものを、1日1日を大切に、今一番大切にしたいことを考え生活していきたいです。命そのものや人の心を助けていこうとしている気持ちが必要だと思いました。
- ・学年集会でも出ましたが、暴言を言う人がいます。依光先生の話で、裏では必死に生きていこうとしている人がいる中で私たちなどが「死ね」や「消えろ」など言うのは、必死に生きていこうとしている人に失礼でもあり今回の話を聞いて少しでもそういう人が少なくなればいいと思います。
- ・命は一つ限りで死んだら終わるからこそ大切にすべき。
- ・生命は絶対に生まれるのではなくて、母も子も命をかけて生む・生まれるのだと知った。今私たちは普通に暮らしているが、安全に生まれることはラッキーなことだと知った。
- ・世の中には生きてくても生きられない人がいて、生まれて来ることさえできなかった人がいる事を改めて知ることができた。誰もがいつ死ぬか分からないけど、今ある命に感謝してこれからも生きて行くことが大切だと思った。

- ・命を大切にするためにも両親に感謝します。(中略)息を引き取ってしまった方や子供を助けることができなかった方のためにも命を大切に、これから生きて行こうと思います。
 - ・赤ちゃんを産む前に亡くなってしまう人やがんによって子供ができずになくなってしまいう人がいて、自分がどれだけ大切なのかを改めて知ることができた。
 - ・今日は命の大切さだけでなく、命を自ら引き取る人へのひいきというものがなくなりました。なぜかという頑張っても生きられない人がいるのに、自殺をすることは、本当に失礼だなと思いました。確かに辛いことはあるかも知れないけど、生きれる人もいるから自分は絶対に自殺はしないと心に決めました。
 - ・今回の話を聞いて「命」とは言葉に言い換えられないほど、^{とうと}尊くて大切なものと学びました。私たちがどれだけ健康で元気な体に恵まれていると実感しました。これからは、自分の知らない所で病氣と闘っている人がいるという事を常に思いながら、少し今の自分にできる事はせいっぱい元気で笑顔で過ごす事だと思いました。
- 1年**
- ・誰もが病気になることを望んでいないのに、がんや感染症にかかってしまうことがあり、自分の身に起きたら、友達にかかってしまったらと考えるとすごく怖くなりました。命が生まれる時に自分の命と新しい命のどちらも失いそうになったら、すごく困惑すると思います。命についてしっかり考えるきっかけになりました。
 - ・死が思っているより身近だと分かり、病氣にかかっている人に寄り添い、自分の事を見つめ直せるように、これからの人生を生きたいです。
 - ・(前略)病氣にかかったりして亡くなってしまうことも多いから今生きている自分は、命を無駄にせずに生きて行こうと思った。
 - ・子供の時は誰かに命を守ってもらえるけど、いずれ大人になるにつれて守ってくれる人は少なくなる。生命を大切にするために尊い生命を大切にするために「生きる力」を身に付けて行く大切さが分かった。人はいつ死ぬか分からない、明日かも知れないし今日かも知れない。後悔のない自分らしい生活や自分の思ったことをすぐに行動に移していきたいと感じた。
 - ・今自分たちが生きているのは当たり前だと思っていたけど、実は本当に大変ですごい奇跡ということを知った。(中略)これからは当たり前前に生きているのではなく、とてもすごい確率で生まれてきたことを考えながら生きて行く。
 - ・話を聞いて涙が出そうになり、すごく悲しい思いをした。依光先生も当時は悲しかったのではないかと思います。自分もできるだけ病氣にならないように努力していきたいです。
 - ・(前略)2つ目の話で軽い気持ちでやってしまった事で重大なことになることを知り、これからは自分の行動に責任をもって過ごしていきたいと思いました。あと病氣の人にも変わらないで接していきたいです。
 - ・(前略)心は元気で体が元氣じゃなくてやりたいこともできずに生きてくても死んでしまう人がいると思うと、今、体も心も元気でいられることがどれだけ大事なことが分かった。そしてこれからはその命を大切にしようと思った。
 - ・すごく若い年で卵巣がんになるのはびっくりしました。治療方法が無くなるのかは悲しいと思いました。残された時間で楽しくやってほしいという気持ちがいっぱいになりました。こういう人たちがいたら助けたい。
 - ・自分は、命は大切だとだと思っていたんですが、今日はなぜ大切か、毎日を大切に思いながら生きているか、命についてきちんと向き合っているかなど考えさせられるような内容で、今よりもっと生きていることの幸せを感じることができました。
 - ・今日のお話を聞いてとても命が尊くて大切なものだと改めて思った。相手の命も自分の命もとても大事にしたい。妊婦の人が大変そうにしていたら私も手伝いたいと感じた。最初の話で「今までと同じように接してくれているんだ」とあり、病氣に負けずに頑張っていたのがとても伝わってきてすごいと思った。
 - ・話を聞いて「悲しい」という言葉では表せない気持ちになった。実際に亡くなってしまった人がいる事と、今も病氣で苦しんでいる人たちの事を考えるとすごいと思うし胸も痛くなる。それに比べて自分は、本来は幸せなことである「学校」や「習い事」を嫌がったり、面倒くさがったりしている。あゆみさんの話を聞いて、自分の考えている事がばかばかしくなった。これからは自分が幸せになり、他人も幸せにできる人になれるように頑張ろうと思う。
 - ・依光先生の話きっかけに、どんな病氣が存在するのか、若者がかかりやすい病氣はあるのか、病氣にならないための対策法などがあるか調べてみようと思いました。
 - ・(前略)生きている人や死にかけている人にも安心してくれるように優しく接していきたいです。病氣には人を殺してしまうものがたくさんあります。そのような危険な病氣が無くなるように、手伝っていけるよう学業に励み頑張っていこうと思います。世界で罪のない人が死なないことを祈って。
 - ・生まれるはずの命が失われたりするのはとても悲しいことだと思いました。この世に生まれてこれたのは、とてもすごいことだと思いました。自分の命を大切にしたいです。
 - ・自分はあまり分からないことだけど、女子の人には、今回の話を聞いて、この気持ち、痛さが分かると思うからもっと大切にしようと思った。
 - ・普通に生活していた人がいきなり具合が悪くなったりして、がんなどが見つかってしまうから何があるか分からない。自分のこれからの1日1日をすごく大切にしていきたい。そして身の回りの人ががんなどになっていたら自分ができることをしてあげたいと思う。
 - ・生命の大切さを知った。病氣になりたくてなっている訳でないのに命を失ってしまうのは、その人にしか分からないくらい辛いことだと感じた。当たり前前に生活できることは、幸せなことだと思った。

・命は自分に1つしかないで、病気になったら、死んでしまうこともあり、だから自分の覚悟、犠牲になっても何かをしたいなどと、そのために一生懸命頑張って生きようとしていることが伝わってきた。命は尊くはないものだと改めて思った。病気、事故、災害などで死んでしまうので、命は大切に大事だと思った。

1年: 続き

- ・今日の講演会を通して感じたことは、自分の生命そして他人の命ほどこの世に尊いものはないんだと感じました。そしてこれからの生活に生かしたいことは、自分の体を何よりも大切にしながら現在だけでなく今後の自分のことも考えて生活しようと思った。
- ・今この瞬間に「生きている」このことこそが奇跡的であることを知った。そしてこの瞬間を作りだしてくれたお父さん、お母さんに感謝している。
- ・命は1人に1つしかない大切なもの。私たちは当たり前のように生活しているけど、いつ病気になるかわからない。そして助かるかもわからないから、当たり前と思って生活してはならないと思った。毎日後悔しないように森川さんみたいに生活する。
- ・私は協力することが苦手で薬を飲むことも苦手です。けれど皆、赤ちゃんを産んだりするために頑張っていたので、私も苦手な漢字などの勉強を頑張ろうと、お話を聞いてそう思いました。
- ・ふだん何気なく生きていたけれど、こうやってとても辛い思いをしている人がいることを改めて感じる事ができました。4人のお話を聞いて辛い思いをしているのに前向きなことを考えているところがすごいなと思いました。毎日学校はいやだと思っていただけ、この話を聞いて1日を大事にしようと思いました。
- ・命を失うのはとてもいやだと思った。自分のもろい命を大切に、自分に正直に一生懸命に生きようと思った。病気の自分ではなく、毎日いつもの自分でいられる事に幸せを感じた。
- ・今回の講演を聞いて辛い悲しい話だったけど、このように命について考えることは生きていく上で必要なことだと感じました。今回の話で自分の命についての価値観、感じ方が少し変わっていったと思います。
- ・私は、命は大事だと思っていたけれど、依光さんのお話を聞いたら、もっともっと命は大事だと思いました。私も周りに困っている人がいたら自分から進んで助けてあげたいなと思いました。そして私が今たった1つの命を持って生きている事が当たり前じゃないなと思いました。(中略) 私も改めて命の大切さに気付けたような気がしました。
- ・森川さんは卵巣がんで辛いはずなのに、最後まで笑顔で亡くなられて、自分だったら部屋に引きこもって、泣いているんだろうなと思ったら、森川さんは強いなと思いました。今日の話で出てきた方たちは、病気などに闘うのに苦しさと、辛さと、悲しさと、痛さにも勝負し、すばらしいと思いました。自分も、もしこんな症状が出たら、調べたり相談できるようにしたいと思いました。
- ・自分は男だから卵巣がんにはならないけど、このようなことを知っておいたら、女友達がこのようなことになってしまった時に少しでも相手の力になってあげることができるようになると思います。後、HIVは自分も感染する可能性があるのかかってしまった時にどうすればいいか分かった。

○部活動、がんばっています

吹奏楽部の地域貢献演奏
 左 10/21 青梅学園・かすみの里秋祭り
 右 11/4 新町末広町地区市民文化祭



部活動名	大会名	団体/個人	大会日	対戦校	勝敗結果	※敬称略
女子ソフトテニス	第67回東京都中学校ソフトテニス新人大会	団体	11月5日	世田谷区立田園調布学園中	勝	
				杉並区立松漣中	勝	
				大田区立東調布	勝	
		団体	11月12日	北区立赤羽岩淵中	勝	
				江戸川区立東葛西	負	※5位
女子バスケットボール	新人大会第8ブロック予選	団体	11月23日	あきる野西中	負	
男子バスケットボール	新人大会第8ブロック予選	団体	11月23日	瑞穂中	負	
バドミントン	Eブロック新人大会	個人	11月5日			男子シングルの部 2D 4回戦進出、 2D 3回戦進出
	Eブロック新人大会	個人	11月5日			女子シングルの部 2D 3回戦進出
野球	第8ブロック野球地区研修大会	団体	11月3日	あきる野西中	負	
	第3回秋季ジャイアンツ杯中学生軟式野球大会	団体	11月5日	日大一中	負	
剣道 ※奥多摩中と合同	東京都秋季剣道大会	団体	11月2日	早稲田中	勝	
				葛飾区立立石中	負	
硬式テニス	第5回青梅ジュニアオープンテニス大会	個人	11月11日			2A 第3位、 2A 第3位

12月・1月前半の予定★給食あり、ST：ステップアップクラス（放課後数学補充教室）

月	火	水	木	金	土・日
11月27日★	28★	29★	30日★	12月1★	2・3
				全校面談始 ⑤⑥カット 再登校 16:00 ST	
4★	5★	6★	7★	8★	9
⑤⑥カット ST	全校朝礼 ⑤⑥カット SC ST	⑤⑥カット ST	①②カット ST	全校面談終 ①②カット ST	授業公開・本物 に学ぶ会
					10
11★	12★	13★	14★	15★	16・17
	1年スキー教室に 関する保護者会 SC	モアレ検査 (1年中心) ST	校則改定に関する 臨時生徒総会 1年スキー教室に 関する事前健診	3年私立高入試相談 避難訓練 ST	16・新入生採寸 17・3年スピー キングテスト 予備日
18★	19★	20★	21★	22	23・24
3年性教育授業 SC	①(学)カット 専門委員会	オンライン市内 生徒会交流会 ST	給食終了 大掃除 中央委員会	2学期終業式 再登校 16:00	
25	26	27	28	29	30・31
冬季休業日開始			閉庁日	閉庁日	大晦日 元旦 閉庁日
1月1日	2	3	4	5	6
閉庁日	閉庁日	閉庁日	閉庁日	冬季休業日終了	始業式
					7
8	9★	10★※	11★※	12★※	13・14
成人の日	特別時間割始	1年スキー教室 ※2・3年のみ給食 ST	1年スキー教室 ※2・3年のみ給食 ST	1年スキー教室 ※2・3年のみ給食 特別時間割終 ST	

※冬季休業期間のうち、12月28日(木)～1月4日(木)までは学校閉庁日とします。緊急のご連絡が必要な場合は、青梅市教育委員会指導室(代表0428-22-1111)へお願いいたします。(12/29～1/3は青梅市役所窓口となりますが、連絡は可能です。)

※お子様のことでご相談がある場合は、教員^{ほかに}、スクールカウンセラー(SC)もぜひご利用ください。(アポイント先:副校長、養護教諭:電話0428-31-0411)

予定は変更になる場合があります。ご理解とご協力をお願いいたします。変更が生じた際は別途、連絡いたします。